

柏木芳美先生のご退職にあたって

柏木芳美先生は、昭和30年2月、北海道の八雲町のお生まれで、函館市で高校生活を終えられたのち、昭和48年4月に名古屋大学理学部に入学、名古屋で大学生活を過ごされました。大学卒業後は昭和52年4月に広島大学の理学研究科へ進学され、昭和57年10月山口大学工業短期大学部に講師として採用されます。当時の山口大学には医療短期大学と工業短期大学が宇部市の小串キャンパス、常盤キャンパス内にそれぞれ併設されていました。その後、工業短期大学部内において昭和61年4月助教授に昇任しましたが、その後、平成2年10月に教養部に転任され、教養部解体に伴い、平成8年4月に経済学部配置換え、経済学部所属することになりました。平成10年8月教授に昇任しまして、その後の活躍はみなさんのご存知のとおりです。

この間、教育・研究および運営に大いにご貢献いただきました。まず、教育面では、学部学生および大学院生の経済数学・数理経済学分野の理解の向上に努めていただき、「経済数学入門」、「経済数学Ⅰ」、「経済応用数学」、「Mathematics for Economics」などの担当科目を通じて、多くの優れた卒業生および修了生を世に送り出していただきました。

学内においては、経済学部副学部長、図書館副館長、広報委員会委員、大学情報機構運営委員会委員および大学研究推進機構運営委員会委員を歴任、細かいところでは、初代の学部内入試委員長でありますし、教務委員長も東研委員長もやっていただきました。山口大学の管理運営には全学、学部ともに大変にご尽力いただいたこととなります。

学術研究面では、代数学の分野におけるリー代数の研究に取り組まれてきたと最終講義でお聞きしました。さらに、経済学部へ

の配置換え後は、当時在籍しておられた橋本教授などとの交流を通じてプール代数やミクロ経済学の考究にも取り組まれ、数学者の立場から、数理経済学の研究の進展にも寄与していただきました。

プライベートでは硬式テニスを楽しんでおられた姿や、教授会での勇姿を思い浮かべる教職員のみなさんも多いのではないのでしょうか。

山口大学内とはいえ、3度の配置転換をご経験された先生はあまりいらっしゃらないのではないかと思います。私も多くの教養部から移籍されてきた先生方を拝見させていただきましたが、その中で最も経済学部へ寄り添う姿勢を見せていただけたことは感謝の念と同時に尊敬の念を抱かずにはられません。今回、無事に定年を迎えられ、経済学部の一員として柏木先生をお送りすることに真の感謝と、そして、スタッフ全員の拍手をもって巻頭の辞とさせていただきます。これまで37年間本当にありがとうございました。

令和2年3月31日

山口大学経済学部長 兵藤 隆